

## 保健体育委員会発表—11月28日(火)

11月30日(木)の校内持久走大会は、曇り空ではありましたが、風のない午前中となり、140名全員出席(11月22日より転入生1名を加えて)、全員完走することができました。大勢の保護者の方が間近で応援してくださり、子どもたちも途中であきらめることなく、しっかりと前を見つめ走りきった姿は立派だったと思います。また、児童会役員が呼びかけた「赤い羽根協同募金」にご協力いただきありがとうございました。2日間で、7,600円集まりました。どうもありがとうございました。

以下に保健体育委員会の活動を紹介します。今回は、子どもたちの運動機能の向上を目指したトレーニングの説明と実演を委員全員で行いました。寒い時期を迎え、体の柔軟性や俊敏性が身に付くと、けがの防止にもつながると思います。



5年 女子

発表練習したときは、こえがばらばらだったりしていました。ほんばんでは、こえもしっかり出て、みんなが楽しそうにやり方を見せていたので、よかったです。



5年 女子

見ている人にわかりやすいように、動きを大きく見せようと努力しました。保健体育委員全員の動きをそろえるために、休み時間に集まって練習しました。その結果、発表は成功しました。これからもコーディネーショントレーニングを続けて、みんなの体が思いどおりに動くようになればいいと思います。



## 人権集会—12月4日(月)

12月4日(月)~10日(日)までの人権週間にちなんで、体育館で人権集会を実施しました。初めに「人権とは何だろう」、「一人一人が自分らしく生きる権利とはどんなことだろう」と、伊藤教務主任から話がありました。私たち一人一人は、外見も考え方も生活環境も違います。お互いの違いを認めたり、自分や友達の良いところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知り、尊重する気持ちをもちたい、そうすれば、福祉実践教室で勉強したことや、赤い羽根募金に進んで協力したことにつながっていくと思います。集会の内容は、DVD視聴、各学年代表児童による人権標語発表、「十西小盛り上げ隊」による北原白秋作「ひとつのことば」の群読です。子どもたちの活躍は後日紹介します。